

椎谷板金

NEWS

vol.3

椎谷板金「まちごと美術館」になる。
障がい者アートの展示を始めました。5月

昨年から続くコロナ禍の

工業になりました。

影響で日常が大きく変化し、地域に根付いて家業を続けてこられた感謝を少しでいい状態が続いております。そんな中でも弊社は5月で、新期を迎えることができ、なんと来年は創業75周年を迎えます。

先代がたった一人で始めた「板金屋」が数人の職人を抱える「椎谷板金」になり、

若い職人を育てつつ土台を築いた「椎谷板金工業」時代を経て、現在の社員数25名の「株式会社 椎谷板金 術館 c o t c o t o (こ

こと

お寺さまの銅板の「鬼」雪害修理

3月

伝統技術継承のチャンス到来!?

今年の大雪で雨樋や雪止め、軒の修理依頼を数多くいただきましたが、そのお客様のの中にはお寺さまもいらつしました。

その依頼内容は雨樋の取り換えや補修、軒天の修理などの他に「鬼の修理」という難題も含まれておりました。急勾配のお寺の屋根に降り積もった大量の雪が鬼を巻き込んで地面に落ちてしまったのです。

寺社仏閣には銅板葺きの屋根がつきものですが、銅板の屋根にも瓦でいうところの鬼瓦が存在します。こ



▼経年の風合いをそのまま活かして修繕された鬼と雨樋の落とし



▲鬼を解体して溶接部を磨き、ゆがみを直します

◀ 第1回目の展示となった、ずーっと見ていただける(！)しゅんすけ君のぼってりアート



▲「まちごと美術館」HPのQRコード



こと」は、障がいがある人の作品レンタルを通して、共生のあるまちづくりや障がい者の収入につなげていくという事業です。

障がいのある方が描いた作品は福祉事業所に飾るばかりで、普段まちの中で見

方がいても、その収入は一時的なものにしかならず、継続的な収入にはなりません。

そこで、飾る場所を福祉事業所からまちなかに移し、売買ではなく「レンタル」にすることで持続可能な事

かけることはほとんどありません。

また、障がい者アートの関心を持って買ってくれる

業として構築されたのが「まちごと美術館」です。

取り組みの素晴らしさに共感したのはもちろんです

が、なんといつてもそれを凌駕する作品のパワーに圧倒されます。作品自体の持つ明るさはもちろんですが、作者の描くことへの情熱や喜びが溢れ出る、素直で魅力あるアートをたくさんの方に見ていただきたいです。

レンタルしたアートは、玄関を入ってすぐの小さなホールに飾らせていただきました。

2カ月ごとに様々な作者の作品にかけ替えられますのでこれから楽しみです。

工事のご相談や板金教室、スカイライトチューブの見学・体感などでご来社の際にはぜひご覧くださいね！

かなかお目に掛かれない仕事ですので社長と相談しながら慎重に作業を進めます。

ぐしゃりと地面に打ち付けられた鬼を丁寧に解体し、既存のハンダ部分を磨いて取り、歪みを直した後にまた組み立ててハンダ付けをするという地道な作業を行いました。

滅多にない銅板修理の機会を得たYさんの感想は…とても印象深い仕事になったようですが、雪害の銅板の鬼修理はこれからも数件予定しており、Yさんには腕を磨くチャンスがまだあります。

社長から引き継がれた技術のバトンをさらに若手に渡すべく、頑張れYさん！



ベトナム人実習生が新たに3人入社
初めての新人研修を実施 2月

本来は昨年の春に来日するはずがコロナウイルスの流行に伴う出入国の制限のため、年末になってやっと入国が許可されたベトナム人実習生3人は、成田のホテルで2週間隔離され、その後、実習生受入監理団体で1か月の研修を終えての入社です。

やっと叶った一年遅れの来日なのに、新潟はとんでもない大雪！先輩たちが現場に向かった後の駐車場



実習生の就業については、テレビで報道されているようなブラック企業的なところは微塵もない当社ですが、職人の手が足りないことを理由に日本人の新人と同じように実地指導を主にやってきました。が、今回は社長の計画のもと、社員の中から任命された3人が手探りで講師を務めることに。

研修期間は2週間とし、内容は日本語の勉強、板金業の基本実技や現場研修で、最終日には試験を実施しました。

日本語の勉強といっても、実習生たちはベトナムで専門の学校に入り、日本語をみっちり勉強してから来日しますから、拙いながらも会話とひらかな・カタカナは書けますが、大きな工事現場に初入場するときには「新期入場届なるものが必ず要で、作業員本人がサインはもちろん、所属会社名や住所も書かなければならぬのですから前途多難です。

あいうえお表で書き順や形を確認しながら、まるで小学校一年生の授業のようでしたが、彼らは書くことよりもリスニングが苦手のようです。これから仕事をとおして社員とたくさんコミュニケーションをとって楽しく学んでほしいと思います。

〈板金折り紙〉新作の「亀」登場!



リピーターさんに支えられている板金教室には、常に「マンネリ化」という暗い影がつきまといま

教室で常に人気がある「祝い鶴」と定番の「鶴」とくれば、やはり「亀」でしょう! 季節を選ばず、おめでた感のある縁起物はシニア世代にはツボですし、小さく作ればミドリガメのようでかわいいですから子供受けも良さそうです。

しかし、いざ調べてみると亀の折り紙は数々あれど、なんだかしっくりこないのです。単純すぎる亀では面白みもなく、見た目はまるでスッポン。一かと言って、立体的でボリューム感のあるタイプは折りが複雑すぎて板金細工向きではない…。

通常業務の合間に試行錯誤と試作を繰り返しつつ約半年、やっと納得のいく亀が完成いたしました!

銅板葺きの技術のひとつである『ヘラだし』を甲羅に使った「亀」です。大きさも既存の鶴に合わせた2種をご用意し、販売用には「萬年亀」にバージョンアップしてお届けすることに。

評判も上々の新作の亀、ぜひ挑戦してくださいね!

〈板金折り紙教室〉 参加者の傾向と魅力・折り紙の効用

毎月開催している板金教室ですが、令和2年度だけで450人以上の方に楽しんでいただきました。(小中学校の出張教室含む)

実はこの数字は延べ人数

でして、当教室はリピーターさんが多いのが特徴です。多い方は全種類どころか、気に入ったものには2回3回と足を運んでくださり、最多の方は9回参加された方もいらつしやいます。

「これはなぜなのか!?」

企画・運営をする以上、分析もせねば!と改めてまとめてみることにしました。



▲夏休みの課題制作にもなると評判の「こども板金教室」

「これはつまり当社の思惑通り」ものづくりにハマった「...もとい、」ものづくりの面白さに目覚めた」ということなのでしょう。

二、性別による タイプ分類と年齢

リピーターさんの性別による傾向もあります。

- ① 折紙紙や手芸など手作業が好き、ものづくりに対して意欲的な方
- ② 不器用だからと尻込みしていたけど作ってみたくなった方
- ③ 金属板での作品作りに惹かれた方

いずれの方にも共通するのは、度々見かける募集広告に興味を持ち、実際にやってみたら面白く、出来上がった銅板の折り紙にはインパクトがあり、見せた家族や友人が驚いて褒めてくれるものだから、ついつい次の作品にも挑戦したくなり...というものです。

か、銅板を手に入れるのが難しく諦めたという方が多いのも特徴です。

年齢に関しては、小中学生のマイスター教室と夏休みのこども教室以外は時間的にも余裕のある60歳以上の方が多く、5才〜90代までとても幅が広いです。

三、ワンコインで未知のことを学んで楽しめる 気軽さと達成感が魅力

もちろん当教室の魅力は、材料・加工代のみ参加料金500円という「ワンコインのワンデー(1day)スクール」で、「手袋と内履きを持参するだけ」という手軽さでも大きな理由でもあるとは思いますが、紙の折り紙のように簡単には折れず、扱いにも注意や制約が伴う「金属板で細工物を作る」という初めての挑戦と「ワクワクする高揚感」や、簡単には作れないだけに、より一層感慨深い「出来上がった時の達成感」が味わえることが理由ではないかと考えます。

最近では男性の参加者も多くなってきたとはいえ、女性4:男性1くらいでしょう。やはり女性が圧倒的に多く、楽しそうなことへの積極性を強く感じます。女性タイプ①②がほとんどで、お友達と一緒に参加される場合も多く、おしゃべりしながら新しいことに挑戦し、共有することを楽しんでくださっています。

一方、男性はタイプ③が多く、一人で参加される方がほとんどです。また、とても面白かったので銅板細工を自分の趣味にしようと道具を揃えようとしたら高価な道具ばかりで断念したと

▼「折り紙の鶴」のイメージを重視して開発した、こだわりの鶴



▲人気の祝い鶴は「菊紋り」を使って制作します

四、「板金折り紙」の 7つの効用

前述の様々なから、板金折り紙の効用を左記に書き添えてみました。

「板金折り紙」の7つの効用

効果① 指先のトレーニングになる

慣れないながら重い板金ハサミやツカミ、ケガキ棒などの道具を使いこなし、手先を細かく動かすことが指先のトレーニングになる。

効果② 集中力が磨かれる

板金折り紙を作る際には、怪我をしないよう気をつけながら作品作りと向き合い、集中する必要があります。丁寧かつ慎重に作業すれば、出来上がりはきれいなものになります。

効果③ 達成感を味わえる

慣れない板金折り紙作りは、途中でギブアップしたくなる事もあるでしょう。しかし、苦勞しながらも工程をこなして、完成までたどり着いたときにはこの上ない達成感が得られます。

効果④ 想像力が豊かになる

完成イメージから考えた時に「今はどの部分を作っているのか」とイメージを膨らませながらの作業は、想像力を育み、先を考える力を養います。

効果⑤ 理解力・空間認知能力が鍛えられる

平面(2次元)の板金が立体的(3次元)に展開することで空間認知能力(視覚でとらえた距離感や奥行などを空間イメージとして立体的に再現したりする感覚)が鍛えられます。

効果⑥ 学びの喜びを思い出す

お仕事をリタイヤされ、初めて挑戦することや新しい学びの楽しさから離れていた参加者も多く、手順を踏む重要性や自己流の良し悪しを思い起こすきっかけになります。

効果⑦ 脳を活性化し認知機能を高める

型紙を銅板に写し取る際のポンチ打ち・下書きのケガキ作業は脳トレパズルのようですし、折り紙も思考や判断、手指の運動等を司る「脳の司令塔」前頭葉と、空間認識を司る頭頂葉を活発にし、子供の脳の発達や認知症の予防にもなります。

五、まとめ

偉そうに長々と書いてしまいましたが、ひょんなことから始めた板金教室が多くなつた方々に支えられ、続けてこられたことに改めて気づかれます。

椎谷社長をはじめ社員の皆さんは元より、広報活動でお世話になつている媒体や関係者の方々に深く感謝いたします。

昨年から続くコロナ禍で窮屈な生活が続きますが、そんな中にもささやかな『ものづくりの喜びと笑顔』をお届けできたらと願つてやみません。これからもどうぞよろしくお願いいたします!

最後に、まだはじめの一步を踏み出せないでいる方々に一言。

どんなに自信のない方でも必ず形にした作品をお持ち帰りいただいておりますので、安心して板金折り紙教室にお越しくださいたいです!

ただし、参加を希望される方には必須条件があることを告白いたします。教室は社屋二階のミーティングルームで開催します。ので、「昭和時代建造の急な階段を昇り降りできる、お膝に問題のない方」でないご参加くださいません。手すりには備えてございますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

〈板金折り紙〉とうとう商品化始動!! 4月

板金教室を開催していると、「販売はしていないの?」「作らなくていいから売ってほしい」「大きな祝い鶴を床の間に置きたい」など、販売に関してお問い合わせを受けることが度々ありました。が、しかし、職人が作るのだからクオリティーは絶対に必要だし、飾る際の入れ物やケースはどうする? などといった問題は...

等々、解決しなければいけない問題が多々あり、本業が忙しいのを言い訳にオリジナル作品の販売計画は亀の歩みでしか進んでいませんでした。

そんな中、いつもお世話になつている新発田信用金庫様から、記念品として地元になんだものを贈りたいとの意向で突然の発注が。作品の販売は、しばらくはお客様のご要望に応じての対応となります。お問い合わせください。

作品の販売は、しばらくはお客様のご要望に応じての対応となります。お問い合わせください。



作品の販売は、しばらくはお客様のご要望に応じての対応となります。お問い合わせください。

癒しの水槽 ~メダカとヌマエビ~

昨年事務所でメダカとヌマエビを飼っています。初代のレッドシュリンプがワンシーズンでお亡くなりになったのを機に、



日本種のメダカに切り替え、数種を取り混ぜたメダカ6匹も飼い始めました。あまり手間をかけずに世話をしているのですが、卵も孵し少しずつ個体数を増やして水槽も大きいものに取り換えました。

仕事の合間にゆったりと泳ぐ小さな生き物を愛でることが日々の小さな癒しになっています。